

- 1 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？

- 2 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

- 3 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？

- 4 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？

- 5 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？

- 6 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？

- 7 奈良時代、政府の統制が強まるなかで、僧が民衆の間を巡り歩いて広め、深い信仰を集めた宗教を何という？

- 8 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？

- 9 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？

- 10 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？

- 11 平城京の道路が整然と区画されていた様子を例える表現を何という？

- 12 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？

- 13 度重なる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、日本に正式な仏教の戒律を伝えた唐の僧は誰？

- 14 奈良時代、唐の進んだ政治制度や文化を学ぶために、日本が中国へ派遣した使節団を何という？

- 15 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？

- 16 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？

- 17 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？

- 18 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

- 19 朝廷が令制国ごとの土地の由来や産物などを記録させた地理書を何という？

- 20 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？

- 21 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	シルクロード は「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。		シルクロード	☐
2	遣唐使 は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。		遣唐使	☐
3	743年に制定された 墾田永年私財法 は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。		墾田永年私財法	☐
4	6歳以上の男女に与えられ、その代償として農民は租・庸・調などの税を納める義務を負いました。		口分田	☐
5	国司 は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。		国司	☐
6	太政官 は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。		太政官	☐
7	当時の 仏教 は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。		仏教	☐
8	万葉集 は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。		万葉集	☐
9	班田収授法 は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。		班田収授法	☐
10	701年に制定された 大宝律令 は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。		大宝律令	☐
11	平城京の道路は、東西南北に直線的に整備され、まるで囲碁の盤のような「 碁盤の目 」状の区画（条坊制）となっていました。		碁盤の目	☐
12	神話の時代から始まり、 持統天皇 の時代までの歴史を詳細に記しています。		持統天皇	☐
13	唐の僧である 鑑真 は、日本の僧からの熱心な招聘に応じ、5度もの遭難や失明という苦難を乗り越えて、6度目の来日を果たしました。		鑑真	☐
14	遣唐使 は、天皇の命を受けて唐の都である長安へ赴き、最新の仏教や学問、政治体制を吸収しました。		遣唐使	☐
15	国司 は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。		国司	☐
16	校倉造 は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。		校倉造	☐
17	口分田 （くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。		口分田	☐
18	聖武天皇 は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。		聖武天皇	☐
19	風土記 には、その土地の名前の由来、特産物、地形、古い伝承などが詳しく記されています。		風土記	☐
20	防人 は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。		防人	☐
21	聖武天皇 は、仏教の慈悲の力によってこの苦難を乗り越えようと考え、「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。		聖武天皇	☐

言えなかった用語ノート